

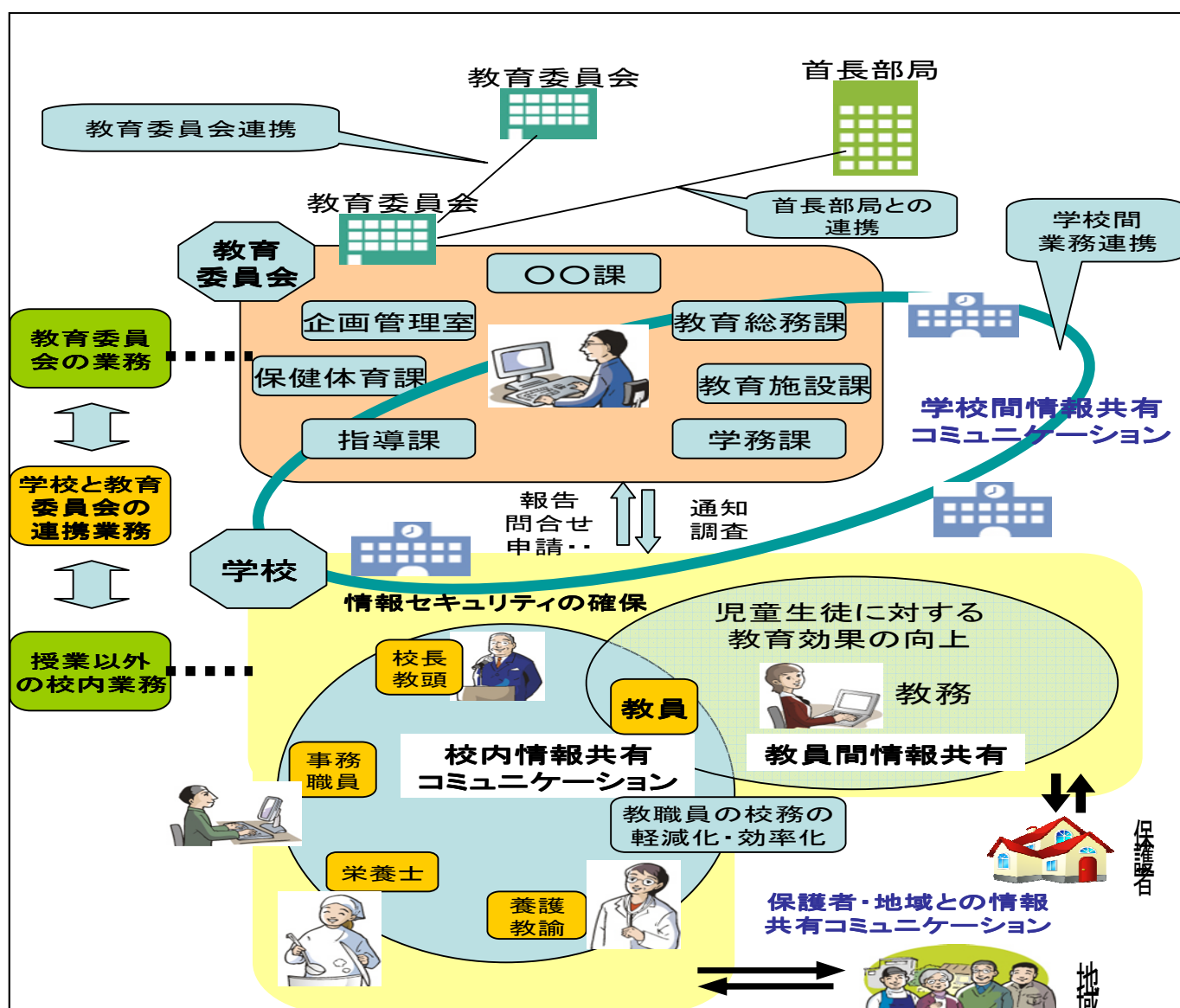
教育情報アプリケーションユニット 標準仕様V1.0

APPLIC-0005_1-2013

日本で初めて教育情報(指導要録、健康診断票)の標準化を実現。全国の自治体を中心に、企業、有識者も参加し、現状調査も十分に実施し、異なった製品を採用した自治体・教育委員会・学校間でもデータ連携を可能とし、今後の校務情報化の推進に大きく寄与する標準仕様です。

一般財団法人 全国地域情報化推進協会 (APPLIC)

<http://www.applc.or.jp/doc/goannai201204.pdf>



■ 学習者情報アプリケーションユニット

学習者(児童・生徒)の様々な情報を、それぞれの学校および各団体間で、1個人単位でのデータ連携を可能とし、公立の小学校・中学校及び各団体間の教育支援活動の向上に寄与することを実現する。

指導要録:文部科学省の参考様式を基本として作成。

■ 学校保健アプリケーションユニット

学校保健業務に関わる団体が、個々に保有する学校保健情報をそれぞれの学校および各団体間で、1個人単位でのデータ連携を可能とし、公立の小学校・中学校及び各団体間の学校保健活動の向上に寄与することを実現する。

健康診断票:(公財)日本学校保健会より出版されている児童生徒健康診断マニュアルにある健康診断票・歯科検査表の様式参考例を基本として作成。

標準化の目的と想定される効果

■ 目的

教育情報を連携するサービスの高度化・普及、データ連携時の
データ項目の統一(標準化)、通信ルールの標準化

■ 想定される効果

★業務の**効率化**(学齢簿との連携, 転校・進学処理の電子化等)

★ベンダーフリーによる**移行リスクの低減**

(他社システムに更新してもデータは生きる。複数社のシステムを組み合わせ運用しても学籍情報等を共有できる。)

★既存システムの活用によるコスト削減

★電子化の加速・利用者利便の向上

教育情報アプリケーションユニット標準仕様V1.0
<http://www.applic.or.jp/2012/app/kyouiku/index.html>